



## ■教職員向けに ICT 講座を実施しました

8月20日(木)、大崎町役場において、大崎町小・中学校教職員指導力向上講座が開かれました。この講座は、教職員のICTを活用した指導力を向上させるために企画されたものです。

講師に鹿児島大学教育学部附属小学校 三宅倅平教諭を迎え、町内小・中学校の53名の教職員が参加しました。

講座では附属小学校で実際に行われているプログラミング(算数・総合)、オンライン授業、iPadの活用法などが紹介されました。

受講した教職員は、「端末が入った後の見通しがもてて、不安が軽減した」「オンライン授業の効果的な方法について非常に参考になった」「言語能力の向上に役立てていきたい」などの感想をもったようです。

この講座を機に、GIGAスクール構想において整備されるICT機器等を活用し、各学校において児童・生徒の学習の充実を進めていく予定です。



▲全体説明の様子



▲学習ソフトを体験している教職員

# まぶい窓おの庭

## 生き方を示す

No.63

大崎小学校 校長 竹下 健一郎

いつの時代も、私たちはその時代に求められる教育(流行)に取り組んできました。と同時に、いつの時代でも変わらず大切にしてきたこと(不易)があります。

昭和から、平成、令和へと時代が移り変わり、人工知能(AI)を中心とするICTの進化によって、10年後の社会には今ある職業の半数以上が失われるとの提言があります。昨今では、感染症の流行や想定を超えた自然災害・異常気象により、大人の私たちでさえ不安を抱き、平凡な日常生活のありがたさをかみしめる日々です。

こうした予測困難な時代の中で、学校や家庭・地域社会に何が求められるのでしょうか。

「大きくなったら、こんな大人になりたい。」「大人になったら、自分の得意好きなことで、みんなを元気にしたい。」「人の役に立つ仕事をしたい。」子ども一人一人に、夢を持ち、ひたむきに追い求める力を身に付けさせたい。

そのために、私たち大人が、「家庭で」「学校で」「地域社会で」それぞれの役割をきちんと果たし、しなやかに生き抜く姿、生き生きと輝く姿を示す。大人は、子どもたちにとって、安心して頼られる存在であり、憧れの存在である必要があるのではないのでしょうか。いつの時代でも変わらず大切にしてきたことが今こそ必要なのだと思います。

私自身、社会で生きる一人の大人として、改めて自分の役割を見つめ、未来を創る子どもたちの教育に力を尽くしていきたいと考えています。